



# 由布市 YUFU CITY COUNCIL 議会だより

No.73  
2024年2月

## 負けるな北陸

この度の令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

由布市議会議員 一同



今こそ  
災害への備え方を  
考えておこう！



防災情報(由布市 HP)



消防団出初式(湯布院)

### CONTENTS

- 令和5年第1回臨時会 ..... 1
- 令和5年第4回定例会 ..... 1～3
- 市政を問う(一般質問) ..... 4～6
- 請願・陳情結果、賛否一覧、編集後記等 ..... 裏表紙

次の由布市議会は 2月26日(月)に開会予定です(令和6年第1回定例会)

## 令和5年 第1回由布市議会臨時会 概要

令和5年第1回臨時会が11月15日の1日間開催され、議長・副議長選挙等、議会構成の変更を行いました。また、上程された報告2件、議案5件については全て原案同意・可決しました。

人事	◎固定資産評価審査委員の選任：麻生俊之輔氏(再任) ◎教育委員の任命：河野富美恵氏(新任) ◎監査委員の選任：平松恵美男氏
条例	◎由布市湯平農業研修所の廃止
一般会計補正予算(第7号)	◎歳入：特定防衛施設周辺整備事業補助金 …… 2,271万7千円 ◎歳出：塚原小学校屋上防水改修工事 …… 902万円 学校給食センター厨房機器等備品購入費 … 2,187万5千円

## 令和5年 第4回由布市議会定例会 概要

令和5年第4回定例会が11月30日に開会され、12月14日までの15日間開催されました。今定例会では報告3件、議案20件、陳情3件を審議し、議案は全て原案可決、陳情は1件を不採択、2件を趣旨採択としました。

### 【主な事件】

議案	◎大分県立庄内屋内競技場の管理に係る事務の受託について ◎由布市・田北奨学資金に関する条例の制定について ◎由布市みらいふるさと基金条例の一部改正について ◎由布市あん摩、マッサージ、指圧、はり、きゅう施術料助成に関する条例の一部改正について	【予算特別委員会の設置】 委員長：佐藤 孝昭 副委員長：太田洋一郎 委員：議員全員
----	--	--

予算 ◎令和5年度由布市一般会計補正予算(第8・9号)  
歳入歳出それぞれに10億8,807万8千円を追加し、総額227億3,295万8千円とする。

- 【歳出予算概要】
- みらいふるさと寄附金推進事業(基金積立金、取扱業務) …… 3億円
  - 企業立地促進事業(企業等立地促進助成金) …… 1,020万円
  - 自立支援事業(障害福祉サービス費負担金) …… 1億33万2千円
  - 子ども医療費助成事業(子ども医療費助成金) …… 3,634万9千円
  - 県営基盤整備事業(事業負担金) …… 9,382万円
  - 道路整備事業(単独事業：市道向原別府線改良工事) …… 5,585万6千円
  - 新型コロナウイルス緊急対策事業(住民税非課税世帯給付金) … 3億2,391万4千円
- ◎特別会計補正予算(国民健康保険(第2号)、介護保険(第2号)、農業集落排水事業(第3号))  
◎水道事業会計補正予算(第3号)

## 議 案 質 疑

### 由布市あん摩、マッサージ、指圧、はり、きゅう施術料助成に関する条例の一部改正について

Q マッサージ・お灸等の支援を65歳から70歳に改める理由は。

A 69歳までの利用率が減少しているため。お茶の間サロンやいきいき元気塾等による転倒予防や認知症予防の健康教室等を通じて、高齢者の健康保持に努めていきたい。

### 由布市教育奨学資金基金条例の一部改正について

Q 由布市教育奨学資金を有利な有価証券に代えるとある。有価証券の種類と運用は誰が行うのか。

A 基金条例、公金運用基準に沿い会計課にて管理運用の実務を行っている。公金運用委員会(副市長および関係課長で組織)の決定により、有価証券は国債を購入している。

### 令和5年度由布市一般会計補正予算(第8号)

Q 指定寄附金(ふるさと納税)3億円を積み上げた要因は。

- A** 令和5年度11月までのふるさと納税獲得状況は、約4億2千万円。昨年12月と比較し、かなりの伸びがあるため、補正予算3億円を積み上げた。
- Q** 由布市に住みたい事業、各町の移住者は何名か。
- A** 10月末現在の移住者数は、挾間町34人、庄内町10人、湯布院町73人。
- Q** 次世代交通実験事業の備品購入費、グリーンスローモビリティ運用実績を踏まえての入札なのか。
- A** この66万9千円は、グリーンスローモビリティ導入実証事業の終了に伴う入札に参加し、車両を取得する費用。車両を取得することで観光周遊型による収益向上を図りつつ、地域住民に向けた地域内運行の可能性の検討や、環境に配慮した車両の活用を試みることができる。(運用実績は未発表)
- Q** 災害対策事業における1,507万2千円の減額と、ハザードマップの作成業務の詳細は。
- A** 工事請負費の減額は、防災ラジオシステム更新工事入札残による減額。防災ハザードマップは、市内21河川の浸水想定区域について作成する。B4サイズの冊子になった形で見やすくなるよう工夫し、周知は全戸配布とホームページにて行う予定。

## 記事の訂正について

前回(No.72)の5ページ、決算質疑の中で「並柳地区水道施設整備事業」と表記しておりましたが、正しくは「若杉地区水道施設整備事業」でした。お詫びして訂正いたします。また、令和5年12月に発行した号外の中で、議員名を「首藤喜友」と記載しておりましたが、正しくは「首藤善友」です。重ねてお詫びし、訂正いたします。

## 教育民生常任委員会

## 大分県立庄内屋内競技場の管理に係る事務の受託について

大分県立庄内屋内競技場の管理に係る事務の効率化を図るため、大分県から事務の受託を受けることについて、議会の議決を求めるもの。

## 大分県立庄内屋内競技場の管理に関する条例の制定について

大分県からの事務の委託を受ける大分県立庄内屋内競技場の管理に関して、必要な事項を定めるもの。

## 由布市・田北奨学資金に関する条例の制定について

市の奨学金制度について規定する「由布市奨学資金条例」及び「由布市条件付返還免除型奨学資金条例」を統合し、事務管理の効率化を図るもの。

## 由布市・田北奨学資金の貸与の特例に関する条例の制定について

大分県立由布高等学校から大学等に進学する生徒について、奨学資金の貸与の要件を緩和するもの。

## 由布市国民健康保険税条例の一部改正について

健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法令の整備等に関する政令の公布に伴い、全世代対応型の社会保障制度を構築するため、出産した被保険者に対し国民健康保険税の減額をするためのもの。

## 由布市あん摩、マッサージ、指圧、はり、きゅう施術料助成に関する条例の一部改正について

施術料の助成対象となる者の年齢要件を引き上げることににより、「満65歳」を「満70歳」に改めるもの。

## 由布市教育奨学資金基金条例の一部改正について

基金の運用を図るため、基金に属する現金について有価証券に代えることができる規定を整備するもの。

## 令和5年度由布市一般会計補正予算(第8号)

歳出の主なものとして、ひとり親家庭等自立支援事業269万6千円、子ども医療費助成事業3,589万9千円、高校生等医療費助成事業604万4千円の増額については、3事業とも医療費助成金の見込み額を増額するもの。要因として、インフルエンザ罹患者の増加や、新型コロナウイルス罹患時における国の助成が終了したことによる。

教育振興費の小学校分371万5千円、中学校分177万9千円の増額は、当初の見込みを上回る申請があったことによるもの。引き続き公平な教育環境の充実に繋げて欲しい旨、意見を付した。

## 令和5年度由布市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ315万円を追加し、総額を41億9,838万1千円とするもの。

## 令和5年度由布市介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ357万8千円を追加し、総額を45億5,631万4千円とするもの。

## 総務常任委員会

### 由布市行政区設定条例の一部改正について

令和6年4月1日から、行政区画中、上朴木及び下朴木を統合し、朴木とすることによるもの。今後、このような事案があることも想定しながら、引き続き丁寧に対応できるよう調査研究していただきたいと意見を付した。

### 由布市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

特別職の職員で常勤のものとの給与改定に鑑み、由布市議会議員の期末手当の支給月数を改定するもの。

### 由布市特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部改正について

一般職の職員の給与改定に鑑み、由布市特別職の職員で常勤のものとの期末手当の支給月数を改定するもの。

### 由布市職員の給与に関する条例の一部改正について

人事院勧告及び大分県人事委員会勧告に鑑み、職員の給与を改定するもの。

### 由布市みらいふるさと基金条例の一部改正について

由布市みらいふるさと基金の管理方法の追加及び繰替運用を実施できるよう、条例の改正をするもの。

### 由布市火災予防条例の一部改正について

対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令の公布に伴い、条例を改正するもの。

### 令和5年度由布市一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ7億6,416万4千円を追加し、総額を224億904万4千円とするもの。

当委員会に係る主なものでは、みらいふるさと寄附金推進事業の委託料を補正するもので、ふるさと納税が昨年比で増加傾向にあり、当初予算額より3億円増額の8億円と見込めるため、取扱業務等にかかる経費等1億5千万円を増額するものです。自主財源が厳しい中で、ふるさと納税の期待が高いことから、寄附の増加につながるよう引き続き調査研究し取組んでもらいたいと意見を付した。

次に、次世代交通実験事業の備品購入費66万9千円は、実証実験で使用したグリーンスローモビリティの車両購入予定費(環境省の入札による)ですが、実証実験の早急な検証と購入後の運用方法がより充実する計画となるよう、また将来的に効果が認められないようであれば事業廃止も含め検討するよう意見を付した。

## 産業建設常任委員会

### 由布市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について

平成30年3月に改正した由布市職員の給与に関する条例の住宅手当の経過措置が、令和6年3月末にて終了するのに伴い、企業職員の住宅手当を廃止するもの。

### 令和5年度由布市一般会計補正予算(第8号)

歳出の主なものとして、火葬場運営整備事業153万5千円、生活環境美化事業7万7千円はエネルギー価格高騰による光熱費の不足によりそれぞれ増額。

畜産経営支援事業1,019万円の減額は、堆肥舎増築を予定していた農家が計画を断念したため。

県営基盤整備事業9,382万円の増額は、挾間町の古野井路・提子井路の隧道工事費、庄内町の柚ノ木地区・平石地区の圃場整備工事費、大郷ため池の補修工事費、片野ため池の測量設計費。

観光振興事業200万円の減額は、観光客増加による業績回復により、まちづくり観光局への補助金を減額。

道路整備事業(単独事業)5,585万6千円の増額は、市道向

原別府線の工事費、および市道西谷桑鶴線の工事費。

都市公園管理事業23万円の増額は、公園内トイレトーパー購入費。トイレ使用のモラル向上対策に引き続き努めるよう、意見を付した。

### 令和5年度由布市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ10万円を追加し、総額を1億2,953万2千円とするもの。

### 令和5年度由布市水道事業会計補正予算(第3号)

主なものとして、取水場・浄水場の修繕費200万円、給配水管の修繕費300万円の増額、挾間浄水場の活性炭吸着設備用調整弁の取り替え工事費330万円の増額。

	補正額	総額
収益的収入	補正無し	8億8,624万円
収益的支出	764万1千円	8億6,618万9千円
資本的収入	341万7千円	5億9,516万4千円
資本的支出	336万3千円	9億3,533万円

一般質問

市政を問う

- **吉村 益則 議員**  
水道料金改定について 他
- **加藤 幸雄 議員**  
やはり気になる湯布院公民館跡地について 他
- **坂本 光広 議員**  
災害時の避難行動要支援者の登録について 他
- **平松 恵美男 議員**  
由布市の自治委員について 他
- **加藤 裕三 議員**  
立地適正化計画策定等について 他
- **鷲野 弘一 議員**  
ネットIBニュースでの報道について 他
- **瀧野 けさ子 議員**  
各地域にあった公共交通について進捗状況 他
- **佐藤 郁夫 議員**  
地方創生と由布市(地域)活性化の取組について 他
- **首藤 善友 議員**  
湯布院駐屯地に置くミサイル部隊について見解を問う 他
- **高田 龍也 議員**  
由布市の財政について 他
- **太田 洋一郎 議員**  
観光客増加でポイ捨ても増加、対策は 他



吉村 益則 議員

「水道料金改定について」  
他

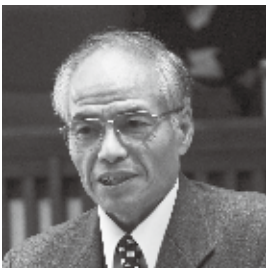
**Q** 水道料金改定について。

**A** 水道施設を未来への重要な資産として残すためにも料金改定は不可欠であると考えており、激変緩和措置も予定どおりに4年3か月行き令和10年4月に完全移行するので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いしたい。

**Q** 潤いのある町づくり条例とまちづくり審議会について。

**A** これまでと同様に湯布院の自然環境、景観、生活環境の保全を基本としながら開発との調和を図り取り組む為に、湯布院のまちづくりの歴史と背景だけでなく本条例の趣旨を関係職員が深く理解する事が重要。まちづくり審議会での意見と判断は地域住民の意見として重く受け止めている。成長の管理を行う上での具体的な管理基準等は示されていないが、本条例が現在の湯布院を導いて来たようにその時代に合致したまちづくりを引継ぎ行っていく。

※その他、健康温泉館、スポーツセンター、自治公民館について質問しました。



加藤 幸雄 議員

「やはり気になる湯布院  
公民館跡地について」  
他

**Q** やはり気になる湯布院公民館跡地について、跡地を駐車場にすれば広いし近いし便利が良い。来行者も喜ぶと思うが、そういう考えは少しも持たないのか。

**A** 公民館跡地の整備は、現在詳細設計を行っており工程表も再検討している。今のところ整地をして暫定的に駐車場利用とは考えていない。

**Q** 看板に「ご不便をおかけしています」とまだ残っている。皆さんに便利にしてあげたい気持ちだと思う。近くに駐車場を造るのが、来行者に対する本当の優しさだと思うが。

**A** ご不便をおかけしている事に関しては組合をお願いを申し、公用車は国民宿舎跡地に置いている。

**Q** 今後も大型バス増便、DCキャンペーン臨時便が何本も出る。盆地の中に車を入れない事を考えないと、あの通りは麻痺する。計画を変更するチャンスと思う。

**Q** 市道の改修工事について。補正予算で防衛費が2,200万円入ったが、市道の改修ではなく他の事業に行った。時間的に無理だったのか。

**A** 補正の時期が遅く、防衛予算は繰越が出来ず年度内の施工が不可能で、他の予算に回った。

**Q** 折角頂いた予算、少しでもやれたら良かったが、残念です。



坂本 光広 議員

「災害時の避難行動  
要支援者の登録について」  
他

**Q** 災害時の避難行動要支援者の登録について、現状の登録者数は。

**A** 対象者の整理ができ、870人を目標としており、市で把握している方が62名。

**Q** 登録の方法は。

**A** 対象の方々、個人で個別避難計画を立て、提出いただくようになる。ご本人にはなかなか難しいことと思われるので、計画を立てていただくに当たり、民生委員さんと地域の自治委員さんと介護保険のケアマネジャーさん等の福祉専門職の方に、避難計画の作成についての説明会を開催している。市が個別避難計画を立てていただくことと判断した方については、その福祉専門職の方を通じて計画を作成していただくという形を取る予定で進めている。

**Q** 各施設に避難するとしたときの課題は。

**A** 要支援者を受け入れる場合に、現在入所している施設入所者への対応等で、可能な限り現場職員を温存しないといけないと思う。そうすると、人員確保において施設の職員で対応するのか、ボランティアで対応するのか等々の課題が出てくると思う。

※その他、市民提案型連携協働事業について質問しました。



平松 恵美男 議員

「由布市の自治委員について」  
他

**Q** 由布市の自治委員について、市から自治委員に委託する主な業務は。

**A** 人口やその他調査報告事務や、市からの通知の伝達、市報配布事務のほか選挙管理委員会連絡事務、災害対策に関する事務など、市と地域住民を繋ぐ重要な橋渡し役を担っていただいている。

**Q** 最近自治区によっては自治委員のなり手不足が心配されている、市としての対応は。

**A** 自治委員の選出や自治区の統合に関し相談が寄せられていたこともあり、市全体の課題と捉え各自治委員を対象として『自治区活動及び自治委員の職務等に関する調査』を実施し、今後この調査結果を踏まえ自治委員の取り扱う事務や自治区及び行政区の考え方などの整理を行い、現状と課題に対応した解決策を検討したい。

※このほかに、「最近の物価高への支援対策について」と「市道、上市海老毛山田線の今後について」を質問しました。



加藤 裕三 議員

「立地適正化計画策定等について」  
他

**Q** 立地適正化計画策定等について。

**A** 本年度、都市計画マスタープランの改定と立地適正化計画の策定を同時に進めている。策定委員会での議論を重ね、現時点では素案が完成している。今後、パブリックコメント及び住民説明会を開催し市民のご意見を集約し修正等を行い、都市計画審議会に諮り決定し、3月末には、冊子、ホームページにより公表する予定。また、懸念される湯布院地域における大型宿泊施設の開発等については今までと同様「潤いのある町づくり条例」に基づき環境、景観の保全を基本とし、開発との調和に取り組む。

**Q** 不登校児童生徒の現状と対応策について。

**A** 由布市小中学生で30日以上長期欠席している児童生徒は、59名。減少対策は「未然防止」「初期対応」「SC、SSW等連携し組織対応」を各学校で取り組んでいる。フリースクールは、多様化する不登校児童生徒のニーズに応じた柔軟な相談支援を行っている。学校、市教委は、フリースクールの活動内容を理解し、子どもを支援するパートナーとして関係づくりに努め、義務教育段階の子どもは、学校、市教委が責任をもって関わるべきと捉えている。教育機会確保法の趣旨を踏まえ今後も支援を行っていく。

※その他、境界確認業務について。



鷺野 弘一 議員

「ネット IB ニュースでの報道について」  
他

**Q** ネットIBニュースで由布市の事が報道されているが、真意について問う。3月に由布院の住民から道路の改良計画の要望があり、担当課と現地確認を行い、必要条件の確認を終え前進していると考えていた矢先、民間の水路と説明の土地が、測量をしたら一転して行政管理する土地となった。これがネットニュースとなり報道されている。今までの地権者に対し丁寧な立ち合い説明会は有ったのか。

**A** 当初、土地の確認方法について職員が未熟のため間違った事を言った(当初、水路を民地と判断したのは、道路台帳に載ってないためそう判断した)。境界とは、国土調査で14条地図というふうになっています。

**A** 境界確認は、私(市長)が指示してさせた次第です。今回のネットニュースは取材を受けたことはなく、行政が行っていたことは市民の方を苦しめることではなく、法律・条例に基づいて業務を執行していることをはっきり申し上げておきます。



淵野 けさ子 議員

「各地域にあった公共交通について進捗状況」  
他

**Q** 地域包括ケアシステム構築まであと2年。各地域にあった公共交通について進捗状況を問う。

**A** コミュニティバス路線の適正化や運行方法の見直し等、継続して行う事で包括ケアシステムにおける地域の医療と介護を連携した高齢者支援等、様々な分野との事業連携を図りながら、地域と共創した輸送資源の確保に取組み市民協働による持続可能な交通体系の実現に向けた取り組みをする必要があると考える。

**Q** 来年度から市内中学校の新制服が導入されるが、制服代の負担軽減に向け卒業生のお下がりやリユースしたり、成長によるサイズ変更や不要となった制服の寄附を募り、希望する家庭に譲る事が保護者の負担軽減になる。制服バンク等の活動を教育委員会の活動として位置づけを要望。

**A** 新制服の値段は4万3千円前後。これまでも中学校卒業時に不用となる生徒・家庭から各学校が譲り受ける取組みは行ってきている。今後とも保護者の負担軽減につながる取組みを継続していく。

※その他、「中学校への冷水機の設置を」「年取の壁についての対応を」「男性のHPVワクチンについて」



佐藤 郁夫 議員

「地方創生と由布市（地域）  
活性化の取組について」  
他

**Q** 地方創生と由布市（地域）活性化の取組について。住んでよし、訪れてよしのまちづくりで、「住み良さ日本一のまち」への取組の状況と進捗は。

**A** 移住定住と転出の状況は、社会動態の推移では、挾間町では年平均136人の増加、庄内町では年平均17人の減少、湯布院町では年平均53人の減少であり、自然動態による減少が社会動態の増加を上回っているため、人口減少の要因となっている。子育て支援施策等で、人口は第2次由布市人口ビジョンが設定する人口推計よりも遅いスピードで減少していた。

**Q** 地域密着型の由布高校の発展について。由布市唯一の県立高校である由布高校を存続させる施策は。

**A** 由布高校での学びが面白い、魅力的だと思われる学校を目指し、外部人材を招いて中国語・韓国語を学び就職後に生かせる授業や、小中学生が由布高校の学びを体験できるドローンプログラミング授業等を行っている。人材育成のため由布高校にいく学生には、田北奨学金の半額免除制度もあります。

※他に、議員の成り手不足の一助となる選挙公営制度導入について質問しました。



首藤 善友 議員

「湯布院駐屯地に置く  
ミサイル部隊について  
見解を問う」 他

**Q** 湯布院駐屯地にミサイル部隊を置くとの事で、市民の中に不安が広がっている事についての市長の見解を問う。

**A** 湯布院駐屯地において、令和6年度までに地对艦ミサイル連隊が新たに編成されることが、8月31日に防衛省より公表された。これは国の専管事項であり、詳細について公表されておりません。情報収集、また市民の安心安全への不安払拭に、充分努めていきたい。

**Q** 消防団員の待遇改善。特に、出勤報酬の2千円を、8千円に引き上げを求める。

**A** 現時点では決まっています。出勤報酬について、国から標準額等が示されておりますので、引き続き調査研究の上、検討してまいります。

※その他、学校給食無償化、介護保険料引き下げを求めた。



高田 龍也 議員

「由布市の財政について」  
他

**Q** 由布市の財政について。由布市すくすくおむつクーポン券は、単年度で終了か。

**A** 反響は大変大きく第三回定例会で計上・承認を頂き、11月の一月で対象者の約8割の方から申請があった。今年度は、国の物価高騰支援地方交付金を活用しての事業です。今後も子育て支援施策の大きな柱として継続していきたい。

**Q** 由布市の新財源の検討状況について。

**A** 財源検討委員会をコロナ禍で中断していたが再開し、新税の導入・入湯税の超過課税についても結論を求めた。

**Q** 他の自治体でも導入している法定外目的税として宿泊税の検討は。22年の由布市の宿泊数は127万3019人、仮に平均して100円の課税をした場合は単純計算で1億2000万円となる。また、再生可能エネルギーに対しても課税することを総務省も認定した例も有るが。

**A** 法定外目的税なので、目的が一番重要だと思います。



太田 洋一郎 議員

「観光客増加でポイ捨ても  
増加、対策は」 他

**Q** 観光客増加でポイ捨ても増加、対策は？新型コロナウイルスが2類から5類に引き下げられ、観光客の賑わいを取り戻しつつあるが、増加に伴いポイ捨て等のごみが至るところで目に付く現状に対策を求める声が寄せられる。対策は考えているか。

**A** 環境省の「ごみのポイ捨て・発生抑制対策モデル事業」等を注視しながら、調査研究したい。

**Q** 捨てる側の対策はもちろん必要だが、事業者側（販売側）の回収やゴミ拾い等の責務を条例等で定める必要があると考えるが。

**A** 市には環境基本条例が施行されているが、対応しきれていない。見直しが必要と考える。

**Q** また、各商店会等と意見交換しながら、商店会と共同で取り組むような要請も必要ではないか。

**A** 早急に条例改正も含め取り組んでいきたい。

※その他、自治体の合併や、来年度から県が導入するパートナーシップ宣誓制度に対する由布市の対応について質問しました。

■令和5年第4回定例会で審査した請願・陳情の結果

区分	件名	代表提出者	結果
陳情1	市議会議員のYouTubeにおける発言に関する陳情	株式会社玉の湯 代表取締役 桑野 和泉	不採択
陳情2	高齢者が出かける元気のあるうちに、一刻も早く、ユーバスを便利にしてください(陳情)	もっと便利なコミュニティバスを考える会 代表 千電 八重子	趣旨採択
陳情3	「障がい者への合理的配慮」と「交通権」の視点から、ユーバス見直しや介護保険の移動支援を、一刻も早く、実効性の高い方法で、実現してください(陳情)	谷 千鶴	趣旨採択

■賛否一覧表

[令和5年第1回臨時会][令和5年第4回定例会]

※○=賛成、●=反対 議長(甲斐裕一)は採決に加わらない。  
※その他の上程された議案等については、全員一致で同意・可決した。

議案名	議員名	議決結果	賛成 反対																		
			甲斐裕一	佐藤孝昭	田中真理子	佐藤人己	洲野けさ子	佐藤郁夫	長谷川建策	鷲野弘一	加藤幸雄	太田洋一郎	平松恵美男	加藤裕三	田中廣幸	吉村益則	坂本光広	高田龍也	志賀輝和	首藤善友	
議案74	大分県立庄内屋内競技場の管理に係る事務の受託について	原案可決	10:7	-	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案75	大分県立庄内屋内競技場の管理に関する条例の制定について	原案可決	10:7	-	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案79	由布市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決	16:1	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案80	由布市特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部改正について	原案可決	16:1	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案84	由布市あん摩、マッサージ、指圧、はり、きゅう施術料助成に関する条例の一部改正について	原案可決	11:6	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案88	令和5年度由布市一般会計補正予算(第8号)	原案可決	16:1	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

編集後記

新しい年を迎え、皆様方におかれましてはお健やかに  
お過ごしのこととお喜びを申し上げます。

昨年中は「市議会だより」による議会広報に対して、皆様  
方の温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

2024年は甲辰です。陰陽五行説によると、植物が成長する  
ようにどんどん勢いを増して増えていくという意味があり、あ  
わせ辰年にさらなる努力をすることで、成功にスピード感をも  
って近づける年となるといわれています。

由布市のさらなる発展の年となり、皆様方が安全で安心して  
住み慣れたところで、いつまでも暮らしていける由布市の実現  
のため、議員一丸となり課題解決のため、創意工夫と英知を結  
集し取り組む議会活動を、詳しく、分かり易く、より丁寧にお  
知らせ致します。

議会だよりを通じて議会に親しみをもちいただき、多くの  
市民の皆様方が由布市議会に参画していただく事ができます  
よう、広報編集委員一同、より一層の努力をさせていただきます。

皆様方の貴重なご意見をお寄せいただきますよう、お願い  
を致します。

志賀 輝和

議員は公職選挙法に基づき  
以下の行為は禁止されております。

- 地域の行事やスポーツ大会への寄附や差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ
- お中元やお歳暮
- 年賀状や暑中見舞いなど時候の挨拶
- 病気見舞い
- 葬式の花輪や供花
- 本人が出席しない場合の結婚祝や香典
- 初盆のお供えやご仏前

市民の皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

市議会  
ホームページ



議会広報編集特別委員会

委員長 志賀 輝和	副委員長 高田 龍也
委員 田中 真理子 加藤 幸雄 加藤 裕三 坂本 光広	委員 洲野 けさ子 太田 洋一郎 田中 廣幸